



資格制度制定

セーフティアセツサ資格



運営

【要員認証制度のご案内】



国際安全規格に基づく 機械安全の知識・力量 を認証

機械・装置・設備を安全で使いやすくすることが重要課題です

資格取得のメリット

モノづくり現場の安全対策を実現する、現場の設計・製造者と使用者間での
リスクコミュニケーションが可能となります



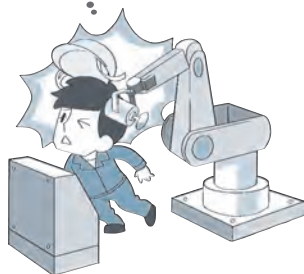
レベルに応じた4つの資格区分

資格	セーフティリードアセツサ (SLA)	セーフティシニアアセツサ (SEA-C)	セーフティアセツサ (SA)	セーフティサブアセツサ (SSA)
認証力量	セーフティアセツサのもつ力量に加え、関連する専門的な知識に基づき、第三者として機械の総合的な妥当性確認を行う力量	セーフティアセツサの力量に加え、制御システムの安全(機械設備の機能安全を含む)に関する規格と妥当性確認に対する知識・技能に基づき、安全方策の詳細設計を行う力量	機械の安全性に関する知識・技能に基づき、リスクアセスメントを実施し、安全方策の立案を行う力量	機械の安全性に関する基本的な知識・技能に基づき、リスクアセスメントを実施する力量

安全資格者はリスクを顕在化し、リスク低減を推進

モノづくり現場・管理部門で様々な潜在リスクが潜んでいます

知識不足



危険な改造



設計と生産の衝突



マネージメント層の安全への理解不足



解決には安全資格取得による知識・能力習得がポイント

セーフティアセッサ (SSA/SA/SEA-C/SLA) 資格取得方法

機械の〈使用・製造・設計〉の各段階に応じた資格取得がポイント。受験資格は問いません。(SEA-C/SLAを除く)

セーフティアセッサ資格取得方法

セーフティリードアセッサ (SLA) 資格		セーフティシニアアセッサ (SEA-C) 資格	
受験資格	SA資格+1年以上の安全関連実務経験 / SEA-C資格者	受験資格	SA/SLA資格者
試験内容	実務 + 筆記	試験内容	学科

セーフティアセッサ (SA) 資格

受験資格	問いません
試験内容	学科 + ケーススタディー + 論文

セーフティサブアセッサ (SSA) 資格

受験資格	問いません
試験内容	学科 + ケーススタディー

資格者スキルの維持・向上について

☐セーフティアソシエツ協議会へ参加 (SA協議会)

安全知識・能力の更なるレベルUP機会と、資格者間の情報交換が行えます。



【主催:セーフティグローバル推進機構】
<https://conference.institute-gsafety.com/>



☐サーベイランスレポート提出

- 年間の活動結果をサーベイランスレポートとして提出し、資格継続のために、4年に1回、資格更新の手続きが必要です。

受験日程・費用について

日本認証ホームページをご確認ください。

【日程】 <https://www.japan-certification.com/certifying-examination/examination-schedule/>

【費用】 <https://www.japan-certification.com/certifying-examination/saftiasessa/examination-outline/>



講習会 (日程・費用はホームページをご確認ください)

講習会の種類	講習内容	関連書籍
機械安全実務講習会 [基本コース] 2日間	機械安全に関する基礎的な知識習得およびリスクアセスメントを学ぶ	機械安全<初級> ～リスクアセスメント実施者向け～
機械安全実務講習会 [応用コース] 4日間	機械安全に関する基礎的な知識習得およびリスクアセスメントに加え保護方策まで学ぶ	機械安全<中級> ～リスクアセスメント実施者向け～
機械安全実務講習会 [発展コース] 2日間	安全論理部の設計知識の習得	—